

馬のいるまちづくり共同事業

取り組みの概要

帯広市と帯広畜産大学が共同のまちづくりの一環として、馬のいる地域づくりを推進するとともに、大学の馬を用いた福祉、健康面における研究を充実するために、児童生徒、障害者、高齢者などを対象とした馬の総合事業を展開するものです。

協働の きっかけ

帯広市と帯広畜産大学が締結している包括連携協定に基づいた取り組みの一環として、馬を活用したまちづくりを進めることとし、平成26年度から本事業がスタートしました。

企画課ほか関係課



帯広畜産大学

・ 関係機関等とのネットワーク

強み

・ 馬場など活動のフィールドが学内に存在
・ 大学教職員及び学生の知識と経験

・ 関係機関等との調整
・ イベントの共催、業務委託 など

役割

・ 各種取り組みの企画、運営 など

協働の 成果

障害のある児童生徒を対象とした「障害者乗馬体験」や、適応指導教室ひろびろの児童生徒を対象とした「馬との触れ合い体験」が進められているほか、大学の取り組みの成果等を市民へ周知する場として、「ちくだい馬フォーラム」が開催されています。
本事業には、大学生が積極的に関わっており、スキルの向上にもつながっています。

協働のポイント

□ 障害のある方、適応指導教室に通学する児童・生徒の心身の健康増進等への寄与